

◇今月号の「とびら」は、分析化学誌の編集理事を務めておられる竹内政樹先生です。「分析化学誌だより」と題し、分析化学誌の近況についてご紹介いただきました。和文学術誌でありながら、国外からのアクセスを3割占めるとのことで、近年のAI技術や翻訳技術の向上によってより広く読まれ、その価値が金鉱やシェールオイルのように感じられているのでは、と私は感じました。

◇リレーエッセイでは「バトンの空想」と題し、偉大な先人から渡される「バトン」を研究者としてどのように繋いでいくのか、というお話をご寄稿いただきました。入門講座では、電子顕微鏡におけるコンタミネーションについてご執筆をいただいております。電子顕微鏡観察において見落としがちな有機汚れに関するコンタミネーションを、実例を交えてご紹介いただき、その対策についてもご解説いただきました。

◇この時期は寒暖差が激しく、私の研究室内でも体調不良が蔓延しているように感じます。皆様の体調管理にはお気を付けください。末筆ながら、今月号にご執筆賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

(O.T.)

〈とびら〉
 歓迎し、放任しよう…………… 巽 広輔

〈入門講座〉 分析におけるコンタミネーション・キャリーオーバー対策
 有機ふっ素化合物分析で気を付けること
 …………… 高原 玲華・高柳 学

〈解 説〉
 フェムト秒二次元分光による光化学反応の分析
 …………… 米田 勇祐

〈ミニファイル〉 分析用試薬
 酵素結合免疫吸着測定法…………… 石松 亮一

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四宮 一 総 (日 本 大 学)		
〈副委員長〉 稲川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)		
〈理 事〉 山口 央 (茨 城 大 理)		
〈幹 事〉 糟野 潤 (龍谷大先端理工)	久保田 哲 央 (アジレント・テクノロジーズ インターナショナル株)	橋 本 剛 (上 智 大 理 工)
	原 賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)	
〈委 員〉 石橋 千 英 (愛媛大院理工)	岡崎 琢 也 (工学院大先進工)	岡 林 識 起 (日大生物資源科学)
	北 牧 祐 子 (産業技術総合研究所)	坂 真 智 子 (株 エ ス コ)
	鹿籠 康 行 (東北大学金属材料研究所)	角 田 誠 (東 大 院 薬)
	原 田 誠 (東京科学大理学院化学)	半 田 友 衣 子 (埼 玉 大 工)
	山口 浩 輝 (味 の 素 (株))	三 原 義 広 (北海道科学大薬)
	高 橋 豊 (EMISソリューションズ株)	勝 又 英 之 (三 重 大 院 工)
	上 田 忠 治 (高知大農林海洋科学)	高 橋 幸 奈 (九大カーボンニュートロ ニウム国際研)
		岡 林 識 起 (日大生物資源科学)
		佐 藤 惇 志 (株 ラ イ オ ン)
		西 崎 雄 三 (東洋大食環境科学)
		村 山 周 平 (昭和医科大薬)
		大 江 知 行 (東 北 大 院 薬)
		萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
 一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2025年 第6号(通巻606)

2025年6月1日印刷

2025年6月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2025, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。